

開成の杜

第95号 ●2014年10月2日 ●郡山女子大学大学院 ●郡山女子大学 ●郡山女子大学短期大学部 ●郡山女子大学附属高等学校 ●郡山女子大学附属幼稚園

●発行所／学校法人郡山開成学園 〒963-8503 郡山市開成3丁目25番2号 ☎024(932)4848(代) <http://www.koriyama-kgc.ac.jp> ●発行人／学園長 関口 修



第29回 ちびっこうねめまつりパレード

知的であること



理事長・学園長
関口 修

人々は誰彼を問わず個人を評価する表現として、誰それさんは知的であるとか、教養があるとか、賢者、有能、無能などと判別します。この判別には一般的評価と個別的評価があります。一般的評価は普通に使われている所謂、井戸端会議的外見評価となります。

先般、テニスの錦織選手が全米オープンで決勝まで勝ち進みましたが、惜しくも優勝することができませんでした。このことを評価する報道機関(某社)の表現と錦織選手のコメントの内容に学ばされたので紹介したいと思います。報道(某社)は「大人と子どもとの戦いであった」と批評しましたが、外形的(外見)には適切な表現なのでしょう。20センチ以上も身長差がある対戦相手ですから、大小の違いが明らかです。でも、錦織選手は決勝に至る過程で身長差のあるランク上の選手と幾度も熱戦を繰広げ疲労困憊での決勝進出であった事は周知の事実です。一方、錦織選手の対戦後のコメントは「対戦相手を讃えるの感謝、観衆への感謝、自分を育ててくれた人々への感謝の後に、再度この場に戻ってきます」と話しました。彼の心には残念無念の思いが満ち溢

れていたのですが、その思いを抑えてのコメントは人々に清々しい感動を与えたと思います。

往々に、私たちが物事を評価する見方として、上辺(外形)だけに目を向けていることが多いのではないのでしょうか。

知的であると云うことは、物事を外形的に判断するのではなく、内面の洞察ができてこそ本当の評価、価値ある評価と云えると思います。物事の内面を洞察することは容易ではありません。相手との対話を繰り返して、相手が使った言葉の内容を吟味すると共に態度にも注意を払い、総体に理解を深めることです。このような内容を理解し活用することがコミュニケーション(対話)能力です。

自分の思いを率直に話しているつもりでも、感情的になつてしまい、相手の事情を考慮しない自分本位の一方的な見解では相手に不快な思いを与えます。言葉だけでなく態度も加わることもあります。それでは如何に専門分野の知識があつても知的ではありません。様々な知識を修得し、自在に活用できる人は我々の憧れではないのでしょうか。

多様な知識の集積に基づき、主観と客観の使い分けが出来る人を教養人と云います。立ち居振る舞いばかりではなく、顔つきも清々しくなる知の所産に憧れ、努めたいものです。

(H26・9・17記)

東日本大震災及び福島第一原子力発電所事故に伴う 平成27年度入学予定者に対する授業料減免措置について

郡山女子大学
郡山女子大学短期大学部への
受験生の皆さまへ

郡山女子大学
郡山女子大学短期大学部
学長 関口 修

東日本大震災で被災された皆さまへ心からお見舞い申し上げます。
平成27年度入学予定者への減免

被災種別 番号	被災内容	授業料等減免支援基準	授業料等 減免申請書に添付する証明書類
①	家計支持者(家計維持者)が死亡した方、または行方不明となっている方	入学金・授業料他(施設充実費・教育充実費を含む)を最長で、大学生は4年間、短大生は2年間、全額免除する。	被災による死亡または行方不明の証明書(平成23年度交付のもの)
②	家計支持者(家計維持者)が失職している方	授業料を7割免除する。免除期間は、再雇用されるまでとし、最長で大学生・短大生ともに2年間とする。	解雇通知書、勤務先等発行の失職証明書、被災による自営業の廃業を証明する書類、自営業の製品・農家の農産品の出荷停止等を証明する書類など
③	家計支持者(家計維持者)が2名で、そのうち1名が失職している方	授業料を3割5分免除する。免除期間は、再雇用されるまでとし、最長で大学生・短大生ともに2年間とする。	解雇通知書、勤務先等発行の失職証明書、被災による自営業の廃業を証明する書類、自営業の製品・農家の農産品の出荷停止等を証明する書類など
④	家計支持者(家計維持者)が長期入院している方	授業料を半額免除する。免除期間は、入院期間に応じて決定する。	被災による長期入院を示す証明書など
⑤	自宅が全壊または流出した方	入学金・授業料を全額免除する。免除期間は、大学生・短大生ともに1年間とする。	全壊または流出の罹災(被災)証明書(平成23年度交付のもの)
⑥	自宅が半壊した方	入学金・授業料を半額免除する。免除期間は、大学生・短大生ともに1年間とする。	半壊の罹災(被災)証明書(平成23年度交付のもの)
⑦	自宅が現在の「帰還困難区域」、「居住制限区域」(平成23年度指定の「原発事故警戒区域(20キロ圏内)」)ならびに「計画的避難区域」にある方	入学金・授業料を全額免除する。免除期間は、大学生・短大生ともに1年間とする。	原発事故被災による警戒区域・計画的避難区域であること、および避難措置を示す証明書(平成23年度交付のもの)など
⑧	東日本大震災により、家計支持者が学費を支弁することに困難な所得状況である方	授業料を5割ないし7割免除する。免除期間は、家計支持者の所得が学費支弁可能となるまでの期間とする。	平成26年度(平成25年度分)所得証明書【原本】、または平成25年分の確定申告書控え(コピー可・税務署の収受日付印のあるもの)

*原則として提出書類は原本とします。提出された証明書は、後日返却いたします。

【被災種別番号(8)の具体的な要件ならびに申請書添付書類】

「東日本大震災により、家計支持者が学費を支弁することに困難な所得状況である方」の申請には、左記1の要件を満たすことが条件となります。それを証明するものとして、下記2の所得に関する書類の提出が必要です。

1. 要件ならびに減免支援基準

- 平成25年分の所得金額が400万円以下の場合は授業料を7割免除する。
- 平成25年分の所得金額が400万円を超え、500万円以下の場合は授業料を5割免除する。
※所得金額…家計支持者(保護者)が2名の場合は2名の家計支持者(保護者)の所得の合算の提出が必要です。

2. 申請書添付書類

- 次の①②のいずれかを提出してください。
家計支持者(保護者)それぞれの証明書を提出してください。
- 平成26年度(平成25年度分)「所得証明書」等の公的証明書(原本)
 - 平成25年分の確定申告書控え(コピー可・税務署の収受日付印のあるもの)
※E-Tax(国税電子申告・納税システム)を利用して確定申告した場合は、受信通知ならびに申告データをプリントアウトして提出してください。

3. 申請書記入ならびに証明書についての注意

- 家計支持者(保護者)とは、原則として両親を指します。父と母の2名を記入してください。
- 保護者が父、母いずれか1名の場合は、その1名のみを記入し、兄や姉が家計を助けていても保護者欄に記入する必要はありません。
- 両親がいない場合は両親に代って学費を支弁している保護者として、祖父と祖母、兄と姉、祖父のみ、祖母のみ、兄のみ等、2名または1名を記入してください。
- 家計支持者(保護者)として氏名を記入した方の「所得証明書」を提出してください。収入がなかった場合でも、所得がなかったことを証明するために、必ず「所得証明書」を提出してください。
- 夫が保護者の場合は、夫1名の平成26年度(平成25年度分)「所得証明書」【原本】を提出することになりますが、志願者に平成25年分の所得があった場合は、志願者本人の「平成26年度(平成25年度分)所得証明書」【原本】も提出してください。



和やかにグループ討議

「学び合い、教え合う学園」というテーマを掲げ、各種の研修会が開催された。午前中は、教員・事務局職員合同で「ワールドカフェinKGC」と題したグループ討議を行った。「ワールドカフェ」とは、お茶やお菓子を囲んだ和やかな雰囲気の中で、意見交換を行う新しい討議法である。途中メンバーを替えながら、多様な意見に触れるというのも大きな特徴である。討議のテーマは「明日の学園を考えよう」であった。多様な意見に触れることで、教職員一同、現状の課題と今後の方策を再発見する機会となった。

午後の第一部は大学教育改革検討委員会のブランディング・ワークンググループの企画による「理想とする卒業せいからの手紙」が実施された。リクルートマーケティング社の井上講師によるブランド作りに関する講話をいただいた後、各人が用意した「理想とする卒業生からの手紙」をグループごとに披露し合った。互いの手紙を読み合わせる中で、各人が認識する大学の良さが浮かび上がった。



シンポジウムで説明する桑野准教授

両部会の後、全体会が行われ、各部会の内容が紹介された。最後に学園長代理として影山彌副学長が「学び合い」という民主的精神の下、本日は貴重な意見交換ができた。明日からは互いに切磋琢磨して」との講話があり、本年度の研究会を締め括った。



説明する横田経理部長

措置が左記の通りまとまりましたのでお知らせいたします。この措置は、経済的困窮により修学困難が予想される入学予定者の入学金ならびに学費を減免する制度です。
この制度の運用を希望される方は支援基準を確認し、申請書に記入して被災を証明する書類や入学願書と一緒に提出してください。合否判定結果と同時に認定結果をお知らせします。
申請書は本学のホームページからダウンロードしてください。
これらの問い合わせ先
郡山女子大学
教務部・入学事務・広報部まで
TEL 024(932)4848(代)
FAX 024(933)6748

第50回学園教育充実研究会 「学び合い、教え合う学園へ」

第50回学園教育充実研究会(大学・短大・事務局職員)の部が9月2日、開成山大神宮参集殿を主会場に開催された。本会は、本学園教職員のための研修大会である。7月31日に高校の部、8月4日に幼稚園の部が実施され、その締めくくりとして本会が開催された次第である。本年度は、一昨年度、昨年度に引き続き、

がつてきた。

午後の第二部は、教員の部と事務局職員の部に分かれ、各々で研修を行った。教員の部では、「栄養系実習の充実に向けて」(岡部聡子講師、亀田明美講師、小林澄枝講師)、「日頃の教育における本学のキャリア教育の活用について考える」(桑野准教授、山口猛講師、小松太志講師)というシンポジウムが開催された。各部会では授業改善に向けて話者、参加者を交えた熱心な討議が行われた。

事務局職員部では、「学園に対する理解を深めるために」補助金と大学ポータルサイトについて」と題して「学園における補助金の役割」(横田英隆経理部長)、「大学ポータルサイトとは」(加瀬洋総務部課長)という2つの講演が催された。多くの事務局職員が熱心にメモを取りながら聞き入る姿が見られた。

平成27年度入学者選抜実施要項発表

―大学・短大合同説明会ひらく―

本学では平成27年度入学者の選抜実施内容説明会を6月27日に開催した。本県はもとより山形、岩手、栃木などから進学指導教諭ら65人が参加した。

関口修学長は「学園は3度の除染で測定値も下がり安心、安全なキャンパスになっている。これからも全教職員が力を合わせ、地域発展のため努力する」と挨拶した。

影山彌減免委員会委員長が「東日本大震災及び福島第一原子力発電所事故に伴う平成27年度入学者選抜者に対する新たな授業料等減免について説明。

関口晋入学生務部長代理が入試制度の変更点を、さらに各学科の主任教授から学科説明、個別面談では選抜形態にかかわる具体的な対応や取得できる資格、就職状況についての質問があった。同時に設営された出身学生との面談会場では、教え子から本学の授業や日常生活などを聞き、熱心にメモしていた。

平成27年度入試内容説明会 (附属高校)

平成27年度郡山女子大学附属高等学校入試内容説明会が、9月12日、建学記念講堂小ホールにおいて開催され、県内各中学校の進路指導関係の先生方が来校した。

午後の5校時目の授業を公開授業とし、日常の附属高校の授業を参観できるようにしたため、中学校の先生方に校舎内を移動しながら各授業を回り、それぞれの中学校の卒業生が授業に参加する姿を見ていただくことができた。また、公開授業終了後は、希望に応じて卒業生と歓談する時間も設け、中学校の先生方が当該校の卒業生と楽しく時を過ごす姿も見られた。

全体会は、関口修学園長が、本学園の教育内容や新たな取り組みについて説明するところから始まり、次いで、八幡文明校長が、高等学校の教育方針や日々の学校生活の様子等について説明した。

その後、佐々木貞子副校長より、普通科・音楽科・美術科・食物科の学科紹介とそれぞれの特性について

平成27年度入学者選考に関する日程一覧

選考種類	推薦生	特待生	学力選考生
出願期間	平成27年1月8日(木) 9日(金)		平成27年1月8日(木) 9日(金)
選考日	平成27年1月21日(水) 22日(木)		平成27年1月22日(木)
合格発表日	平成27年1月29日(木) 12:00		平成27年1月29日(木) 12:00
入学手続日	平成27年2月12日(木)まで		

ての説明がなされ、さらに、平成27年度入学者選考要項についての説明もなされた。

そして最後には、山本正典高校事務室長より、本校の授業料や奨学金制度についての説明がなされた。

平成27年度入学案内概要

◆募集人員

【大学院】

本大学院は、本大学家政学部人間生活学及食物栄養学を基礎に、人間生活学研究科人間生活学専攻の修士課程(2年)、さらに博士(後期)課程(3年)を設けている。

○人間生活学研究科
修士課程10名(含昼夜開講制)。
博士(後期)課程3名。

【大学】

家政学部人間生活学40名(生活総合コース10名・建築デザインコース10名・福祉コース20名)。家政学部食物栄養学80名。
【大学3年次編入】

本大学では、両学科とも3年次への編入を認めている。募集人員は両学科とも各10名。

短期大学、高等専門学校、専修学校専門課程を卒業、修了または見込みが条件であるが、同等以上の学力があると認められた者も出願できる。

【短期大学部】

家政科福祉情報専攻 40名
家政科食物栄養専攻 120名

すべての説明終了後には、質疑応答の時間を設け、中学校の先生方から、推薦生選考の出願基準や調査書の記入方法などについての質問が出され、高校側がそれぞれの質問に丁寧に答えた後、説明会を終了した。

今回の説明会を通して、本校が女子校としての伝統を継承しながら、今新たに短大・退学への進学を前提とした基礎的な学力保証に取り組み、学習活動と部活動の両立を図り、活力ある学校へと進化していることがご理解いただけたものと思われる。中高のさらなる連携強化に努めたい。

幼児教育学科 140名
生活芸術科 20名
音楽科 30名
文化学科 40名

【専攻科文化学専攻】

短期大学の専門教育の基礎の上に、より専門的知識を体系的に学んで、総合的な判断力、豊かな人間性を培う。大学評価・学位授与機構の審査をパスすると「文学士」の学位を得ることができる。 10名

◆選抜方法

推薦生(特待生・指定校・公募) 特別生(専門・総合学科/高等専門)

専修学校/社会人/高認合格者/外国人留学生/帰国子女
高大連携生(本附属高校生)
AO生(自己推薦)
一般生(入試センター試験併用可)

◆選抜日程(別項参照)

AO生選抜日程 I期・II期募集終了。III期は短大のみ実施します。

■短大

家政科 福祉情報専攻
家政科 食物栄養専攻
幼児教育学科・生活芸術科・音楽科・文化学科
エントリー期間 2/13(金)~2/27(金)
面接日 3/6(金)
可否通知発送日 3/11(水)

*詳しくは教務部か入学生務・広報部まで

平成27年度 入学者選抜日程

	選抜方法	願書受付期間	選抜日	可否通知発送日	手続き締切日
大 学	指定校推薦生・特待生 公募推薦生 I 期 特別生 I 期	10/17(金)~10/31(金)	11/8(土)	11/14(金)	11/27(木)
	高大連携生	10/17(金)~10/31(金)	11/7(金)	11/14(金)	11/27(木)
	公募推薦生 II 期 特別生 II 期	11/14(金)~11/28(金)	12/6(土)	12/12(金)	12/25(木)
	一般生 I 期	1/9(金)~1/23(金)	1/31(土)	2/6(金)	第1回 2/16(月) 第2回 3/19(木)
	一般生 II 期	2/2(月)~2/16(月)	2/20(金)	2/26(木)	第1回 3/12(木) 第2回 3/19(木)
	一般生 III 期 ※大学のみ	2/17(火)~2/27(金)	3/6(金)	3/11(水)	3/19(木)
短期大学部	指定校推薦生・特待生 公募推薦生 I 期 特別生 I 期	10/17(金)~10/31(金)	11/8(土)	11/14(金)	11/27(木)
	高大連携生	10/17(金)~10/31(金)	11/7(金)	11/14(金)	11/27(木)
	公募推薦生 II 期 特別生 II 期	11/14(金)~11/28(金)	12/6(土)	12/12(金)	12/25(木)
	一般生 I 期	1/9(金)~1/23(金)	1/31(土)	2/6(金)	第1回 2/16(月) 第2回 3/19(木)
	一般生 II 期	2/2(月)~2/16(月)	2/20(金)	2/26(木)	第1回 3/12(木) 第2回 3/19(木)

平成27年度から自由服導入

本学では、創立から間もなく学生からの強い希望によって制服を定め、これまで長きにわたり、大学生・短大生ともに清楚な制服を着用してきたが、この度、学友会より制服に加え、自由な服装を認めていただくことの提案があった。

「建学の精神に基づき、学生が自主性を高め、自由な服装をすることに責任を持つて学業に勤しむことは、大切なことである」との関口修学長の考えにより、学生と教員からなる「ドレスコード委員会」を発足。今後の服装の指針となる「ドレスコード」を作成した。

なお、本年10月1日の衣更えの日から、この「ドレスコード」による服装となる。

ドレスコード(服装規定)

コード	場 合	服装の内容
A	式典、入学式 卒業式等	制服(正装) または黒・紺・グレー のスーツ ※卒業式では卒業生は着物・袴も可
B	普通授業	制服または私服

※1 普通授業には始業式、終業式、芸術鑑賞講座、教養講座を含む。
※2 学外実習、その他の学科行事等の服装はその内容により、各学科専攻で対応する。
※3 オープンキャンパス、もみじ会等の服装は役割分担により、入学生務部、学生生活部ならびに各学科専攻で対応する。
※4 私服として注意すべきこと。
●肌の露出の多い服装(フリースリーブ、袷ぐりが大きくあいているもの、ショートパンツ、短すぎるスカート)を避ける。●安全性に欠ける履物(フックス、ピンヒール)を避ける。

学校法人 郡山開成学園

平成25年度 事業報告

一、法人の概要

(1)建学の精神
本学園は、建学の精神「尊敬」「責任」「自由」を教育目標としている。

(2)学校法人の沿革
(法人名) 学校法人郡山開成学園
(創立昭和22年4月22日)
(所在地) 福島県郡山市開成三丁目25番2号

○代表者 理事長 関口 修
○設置学校名
郡山女子大学大学院
開設：修士課程平成4年4月
博士課程平成8年4月

郡山女子大学
開設：昭和41年4月

郡山女子大学短期大学部
開設：昭和25年4月

郡山女子大学附属高等学校
開設：昭和32年4月

郡山女子大学附属幼稚園
開設：昭和30年4月

○学校長名
郡山女子大学
学長 関口 修

郡山女子大学短期大学部
学長 関口 修

郡山女子大学附属高等学校
校長 八幡 文明

郡山女子大学附属幼稚園
園長 賀門 康博

(3)学校・学部・学科等の入学定員、学生数の状況(平成25年5月1日現在)

在籍総数 1,248名
学則等収容定員 2,519名

(4)役員・教職員
理事10人・監事2人・評議員22人

※理事会・評議員会
理事会4回開催、評議員会2回開催、監事監査1回実施、会計士監査4回
(5)教職員 表②参照

二、事業の概要(当該年度)

本学の建学の精神である「尊敬・責任・自由」と学園の基本方針である「品位高尚」「秩序儉約」「創造自立」を元に、それぞれの学科・部署において計画した教育・運営に関する事項を実施した。
※教育等実施内容
各部署毎に年度当初に立てた計画に基づき計画(Plan)、実施(Do)、評価(Check)改善(Act)のPDCAサイクルに従い、教育活動並びに事務活動を行った。

(1)法人関係で実施した主な事業
・新形式・年度当初学園全体職員会
・学園創立67周年記念式典
・平成25年度郡山開成学園家族会総会
・家族会役員・常任委員合同委員会
・方別別教育懇談会
・第67回もみじ会
・平成26年度大学入試センター試験会場校
(2)大学院・大学・短大で実施した主な事業
・大学院第21回、大学第48回、短大第64回、専攻科第14回入学式
・第1回～第3回オープンキャンパス
・平成26年度大学・短大入学者選抜実施内容及び教育内容等説明会
・KGCサマリーフレッシュプログラム
【教員免許更新講習会】
・AO生I期～III期選抜実施
・大学3年編入I期～III期選抜実施
・大学短大「高大連携生」選抜実施
・大学短大「特待生」指定校生公募推薦生I期、特別生I期「選抜実施」
・大学短大「公募推薦生II期」特別生II期、専攻科I期「選抜実施」
・大学短大「一般生I期～II期」大学3年編入II期～III期、専攻科II期「選抜実施」
・春のオープンキャンパス
・大学第45回、短大第63回、専攻科第13回卒業式
○その他
主任：大学短大教授会、研究科委員会(月1回)、入試判定委員会、学生生活委員会、就職対策

Table with columns: 在籍数, 入学定員, 在籍学生数 (1-4年次), 合計, 収容定員. Rows include 短期大学部 and 専攻科.

Table with columns: 在籍数, 入学定員, 在籍学生数 (男, 女, 合計), 収容定員. Row: 専攻科 化学専攻.

Table with columns: 在籍数, 入学定員, 在籍学生数 (1-3年次), 合計, 収容定員. Rows include 附属幼稚園 and 附属高等学校.

Table 1: 院生・学生・生徒・園児在籍総数 [1,248人: 昨年比202名減] 学則等収容定員 [2,519人] 単位: 名. Rows include 大学院 and 合計.

Table 2: 郡山女子大学. Rows include 人間生活学科, 食物栄養学科, 合計.

Table 3: 附属高等学校. Rows include 普通科, 音楽科, 美術科, 食物科, 合計.

表② 教職員 223名 [教育職員 154名 事務職員 69名]

Table with columns: 学校別, 教員数, 職員数, 非常勤講師, 合計. Rows include 郡山女子大学, 郡山女子大学短期大学部, etc.

☆福島学習センター出向職員 5名 ☆時間雇用職員 7名

委員会・担当会議、期末試験、教育実習、定期演奏会、卒業研究発表、健康診断、学生相談、教育課程体験事前指導など
※平成25年度卒業生就職状況
【大学】卒業生数 98人 就職希望者 93人 就職決定者数 92人(就職率99%)
【短大】卒業生数 234人 就職希望者 203人 就職決定者数 200人(就職率99%)
(3)附属高等学校
「私を創るー未来の私を考えてー」という努力目標を掲げ、生徒一人ひとりが自分の目標設定し、高校生活をより有意義に送る為に、生徒の自己啓発と自発性を育成するという観点から、全教員が一丸となって取り組んだ。教師自身も、各学科教科や各部署学年それぞれにおいて、努力目標を設定し、その目標実現のために十分に努力した。

○実施した主な事業
・附属高等学校第57回入学式
・体験入学
・第49回学園教育充実研究会(高校の部)
・教育内容説明会(教員64名)
・修学旅行(第2学年)
・入試内容等説明会(3回)
・特待生推薦生選考会
・学力生選考会
・附属高等学校第55回卒業式
・新入生説明会
○その他
職員会議・運営委員会(月1回開催)、教育実習、進学相談会、考査(前期中間、前期末、後期中間、後期末、追再、音楽科実技等)、実力テスト、集会、表彰伝達式・壮行会、交通安全教室、列車通学者指導、自転車点検、健康診断、単票・一票提出、校内合唱コンクール、校内球技大会、定期演奏会、卒業発表会、卒業作品展など
(4)附属幼稚園
本園は、よくみる、よくきく、よくかんがえてを教育目標として、教職員全員が一丸となって、園児一人ひとりにきめ細かい保育と基本的な生活習慣を身につけさせるとともに集団での遊びにも力を入れて保育を行った。特に、園児の事故をなくすことに努め、生活指導に力を入れ安全管理に心がけ生活習慣の形成の徹底を図ること、園児一人ひとりの気配りを良くすること、教師間の連携を十分に図ることに努力した。

延長保育は、仕事や家事都合等で利用する家庭も多く、家庭的な雰囲気の中で保育が進められた。
○実施した主な事業
・附属幼稚園第59回入園式
・創立記念日のお集まり
・第49回学園教育充実研究会
・附属幼稚園運動会
・平成26年度入園面接
・1日入園
・附属幼稚園第59回卒園式
○その他の実施内容
春・秋の遠足、保育参観、お泊り保育、預り保育、延長保育、夏期保育、七五三、はくとわたしのさくひんてん、クリスマス会、おもちゃつき、節分のおあつまつり、お別れ会食、親子パーティー、発表会、園庭整備、父母の講座、KGCマミークラブ、父母会総会、避難訓練など
(5)家庭寮(新入生25名)
・新入寮生オリエンテーション、リーダー会議(月1回開催)、入寮生歓迎会、お食事会、七夕会、いもに会、クリスマス会、避難訓練等
(6)大学図書館(高校分館を含む)
・本学図書館高大連携打合せ会
・運営委員会蔵書点検
(7)保健室
・定期健康診断実施(大学・短大生、高校生、幼稚園児、教職員)
(8)学園創立者関口育英奨学生の採用
・平成25年度 大学生10名、短大生10名、高校生4名 計24名
(9)学生・生徒・園児募集
・進学相談会(会場形式18回)
・高等学校訪問(延べ478校)
・中学校訪問(延べ103校)
・園児募集(パンフレット)
(10)部活動及び応募等の全国大会出場
・全日本バレーボール高等学校校選手権大会出場(25年度全国高等学校校総合体育大会出場)
・新体操部第60回全国高等学校剣道大会女子個人出場
・第60回NHK杯全国高等学校校放送コンテストアナウンス部門、朗読部門

世界平和弁論大会優秀賞第26回全日本ジュニアクラシック音楽コンクール・ピアノ、弦楽器部門銀賞
(11)安全管理
・大学キャンパス内主要校舎等屋内16カ所に防犯カメラシステムを設置し、防犯セキュリティ対策の強化を図った。
(12)施設・設備関係
施設整備については、各学校毎に安全性(放射線対策等)とアメニティ(快適な空間)に配慮した教育研究環境の整備を優先順位により行った。
1 創学館、図書館 非構造部材の耐震対策整備
2 芸術館屋上 太陽光発電設備(20kW)新設整備
3 学生駐車場(125台収容)の整備
4 附属高校 南北外周(410m)フェンス更新整備
5 家庭寮北側水路擁壁(89m)新設整備
6 ICT教育環境整備(新入大学生用ノートPC71台)
7 ランコモ室(2室)整備(アクティブラーニング設備)
8 証明書発行システム整備
9 グループウェア用サーバ整備
10 短大生活芸術科CG演習用Macシステム(16式)更新整備
11 附属高校NO2情報処理室 教育用コンピュータシステム(35式)更新整備
12 附属高校美術科用Macカラーシステム更新整備
(13)環境関係
①地球温暖化対策の取組を評価する「第5回エコランキング」において、全国127大学中総合24位。
②郡山女子大学NLS(ナチュラライフスタイル)部と天理大学の環境交流会を実施した。
③再生可能エネルギー産業フェア「REIFふくしま2013」に環境委員会が出展し、150名を超える方が来場。本学の環境活動をアピールした。
(14)その他資料
※家族会等
・家族会役員・常任委員合同委員会(4月、6月、12月)
・家族会総会(5月25日)
・家族会方別別教育懇談会(開催時期は7月上旬から7月下旬)
・県南郡山方部会(高校)計2方部、南東北浜通関東・北東北福島会津・県南郡山方部会(大学)短大・計8方部

平成25年度 決算報告

学校法人郡山開成学園の平成25年度決算について、東邦監査法人の監査を受け、理事会・評議員会で報告、決定されましたので、その概要をご報告いたします。

平成25年度資金収支計算書において、前年度繰越支払資金を加えた資金収入合計は、5,690,564千円となり、予算より1,894千円上回りました。これは、主として、学生生徒等納付金収入、資産売却収入等で見込みを下回りましたが、補助金収入、その他の収入等で見込みを上回ったためです。

資金支出は、管理経費支出で見込みを下回りましたが、その他すべての支出で見込みを上回ったため、3,574,539千円となりました。

その結果、次年度繰越支払資金は2,116,024千円となり、予算より56,565千円減となりました。

1 資金収支計算書

資金収支計算について、その主な内容をご報告いたします。
平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	1,048,400,000	1,037,862,650	10,537,350
手数料収入	19,120,000	19,974,927	△ 854,927
寄付金収入	12,000,000	18,942,960	△ 6,942,960
補助金収入	815,620,000	864,084,350	△ 48,464,350
国庫補助金収入	452,142,000	494,286,000	△ 42,144,000
地方公共団体(県)補助金収入	359,964,000	366,283,950	△ 6,319,950
地方公共団体(市)補助金収入	3,514,000	3,514,400	△ 400
資産運用収入	92,700,000	94,326,234	△ 1,626,234
資産売却収入	800,100,000	400,000,000	400,100,000
事業収入	48,300,000	49,439,500	△ 1,139,500
雑収入	101,100,000	134,887,221	△ 33,787,221
前受金収入	332,300,000	338,180,800	△ 5,880,800
その他の収入	1,543,769,674	1,932,251,565	△ 388,481,891
資金収入調整勘定	△ 460,000,000	△ 534,646,472	74,646,472
前年度繰越支払資金	1,335,260,326	1,335,260,326	—
資金収入の部 合計	5,688,670,000	5,690,564,061	△ 1,894,061

科目	予算	決算	差異
人件費支出	1,880,660,000	1,891,517,115	△ 10,857,115
教育研究経費支出	457,080,000	469,419,992	△ 12,339,992
管理経費支出	128,700,000	128,172,401	527,599
施設関係支出	78,370,000	84,284,468	△ 5,914,468
設備関係支出	57,370,000	62,480,648	△ 5,110,648
資産運用支出	834,080,000	834,254,054	△ 174,054
その他の支出	139,316,067	161,059,733	△ 21,743,666
予備費	7,900,000	—	7,900,000
資金支出調整勘定	△ 67,396,067	△ 56,648,426	△ 10,747,641
次年度繰越支払資金	2,172,590,000	2,116,024,072	56,565,928
資金支出の部 合計	5,688,670,000	5,690,564,061	△ 1,894,061

2 消費収支計算書

消費収支計算について、その主な内容をご報告いたします。
平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金	1,048,400,000	1,038,459,050	9,940,950
手数料	19,120,000	19,974,927	△ 854,927
寄付金	22,000,000	91,755,135	△ 69,755,135
補助金	815,620,000	864,084,350	△ 48,464,350
国庫補助金	452,142,000	494,286,000	△ 42,144,000
地方公共団体(県)補助金	359,964,000	366,283,950	△ 6,319,950
地方公共団体(市)補助金	3,514,000	3,514,400	△ 400
資産運用収入	92,700,000	94,326,234	△ 1,626,234
資産売却差額	100,000	0	100,000
事業収入	48,300,000	49,439,500	△ 1,139,500
雑収入	101,100,000	136,298,606	△ 35,198,606
帰属収入合計	2,147,340,000	2,294,337,802	△ 146,997,802
基本金組入額合計	△ 145,740,000	—	△ 145,740,000
消費収入の部合計	2,001,600,000	2,294,337,802	△ 292,737,802

科目	予算	決算	差異
人件費	1,870,660,000	1,906,158,537	△ 35,498,537
教育研究経費	891,580,000	869,604,340	21,975,660
管理経費	132,050,000	131,520,388	529,612
資産処分差額	1,000,000	5,220,765	△ 4,220,765
徴収不能額	0	596,400	△ 596,400
予備費	1,000,000	—	1,000,000
消費支出の部合計	2,896,290,000	2,913,100,430	△ 16,810,430

4 財産目録総括表

財産目録について、その主な内容をご報告いたします。
平成26年3月31日現在

項目	金額	備考
基本財産	7,306,219,363	
土地	182,438.30㎡	2,763,869,930
建物	50,943.64㎡	3,485,300,659
構築物	293点	102,667,157
教育研究用機器備品	13,074点	418,201,353
その他の機器備品	710点	9,907,685
図書	154,959冊	488,736,544
車両	2台	2,090,451
建設仮勘定		3,931,400
水道施設利用権		0
借地権		980,389
電話加入権		2,918,498
ソフトウェア	7件	27,615,297
運用財産	3,448,865,122	
現金・預金	2,116,024,076	預入先 東邦銀行他2行
有価証券	500,000,000	外国債券
出資金	9,951,400	福島県私学振興基金協会他
育英奨学金引当特定資産	588,161,194	
未収入金	229,868,772	退職金財団交付金他
前払金	221,480	
その他の資産	4,638,200	
資産合計	10,755,084,485	
固定負債	950,996,673	
退職給与引当金	906,127,601	退職給与に係る見積債務額
長期未払金	44,869,072	
流動負債	464,335,263	
未払金	42,858,476	
前受金	338,180,800	平成26年度生入学金等
預り金	83,295,987	
負債合計	1,415,331,936	
差引正味財産	9,339,752,549	

監査報告書

平成26年5月23日
学校法人 郡山開成学園
監事 橋本 忠雄
監事 遠藤 武士

私たちは、学校法人郡山開成学園の監事として、私立学校法第37条第3項に基づいて同学園の平成25年度(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)における財産目録及び計算書類(資金収支計算書、消費収支計算書、貸借対照表及び附属明細表)を含め、学校法人の業務並びに財産の状況について監査を行いました。

私たちは監査にあたり、理事会その他重要な会議に出席するほか理事からの業務の報告を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧するなど必要と思われる監査手続を実施しました。

監査の結果、私たちは、学校法人の業務に関する決定及び執行は適切であり、財産目録及び計算書類は会計帳簿の記載と合致し、法人の収支及び財産の状況を正しく示しており、学校法人の業務又は財産に関し不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する事実はないことを確認いたしました。

3 貸借対照表

貸借対照表について、その主な内容をご報告いたします。
平成26年3月31日現在

科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	8,404,831,957	9,875,593,712	△ 1,470,761,755
有形固定資産	7,274,705,179	7,460,740,342	△ 186,035,163
土地	2,763,869,930	2,763,869,930	0
建物	3,485,300,659	3,715,742,803	△ 230,442,144
構築物他	1,025,534,590	981,127,609	44,406,981
その他の固定資産	1,130,126,778	2,414,853,370	△ 1,284,726,592
有価証券	500,000,000	500,000,000	0
長期定期預金	0	1,300,000,000	△ 1,300,000,000
ソフトウエア他	630,126,778	614,853,370	15,273,408
流動資産	2,350,252,528	1,468,387,534	881,864,994
現金預金	2,116,024,076	1,335,260,326	780,763,750
未収入金他	234,228,452	133,127,208	101,101,244
資産の部合計	10,755,084,485	11,343,981,246	△ 588,896,761

科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	950,996,673	946,682,302	4,314,371
退職給与引当金	906,127,601	892,897,564	13,230,037
長期未払金	44,869,072	53,784,738	△ 8,915,666
流動負債	464,335,263	438,783,767	25,551,496
授業料等前受金	338,180,800	304,777,700	33,403,100
預り金他	126,154,463	134,006,067	△ 7,851,604
負債の部合計	1,415,331,936	1,385,466,069	29,865,867

科目	本年度末	前年度末	増減
第1号基本金	14,849,321,130	14,898,502,442	△ 49,181,312
第4号基本金	246,000,000	246,000,000	0
基本金の部合計	15,095,321,130	15,144,502,442	△ 49,181,312

科目	本年度末	前年度末	増減
翌年度繰越消費支出超過額	△ 5,755,568,581	△ 5,185,987,265	△ 569,581,316
消費収支差額の部合計	△ 5,755,568,581	△ 5,185,987,265	△ 569,581,316

科目	本年度末	前年度末	増減
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	10,755,084,485	11,343,981,246	△ 588,896,761

参考

正味資産	9,339,752,549	9,958,515,177	△ 618,762,628
減価償却の累計額	7,620,016,508	7,484,892,195	135,124,313

(※正味資産=資産-負債)

うねめまつり・踊り流しコンクール 2年連続大賞に輝く

50回目を迎えた郡山の夏の一大イベント「郡山うねめまつり」が8月7日から3日間開催された。フィナーレを飾った9日の「うねめ踊り流し・ひよっこ踊り」で本学が2年連続大賞を受賞した。

この日は38団体約3300人の参加があった。

本学園からは大学・短大・高校・幼稚園から昨年を200人上回る総勢520人が参加。今年はお揃いのTシャツだけでなく、手首に揃いの飾りを付け「女性らしさ」を發揮した。短大・幼児教育学科2年の生徒は「テスト期間の合間を縫って練習した成果が出て嬉しい」と大賞2連覇を喜んだ。

また、個人の部でも附属高校1年の高橋優里さんと本田葵さん、短大・准教授 太宰待子さんの3人が選ばれた。

24時間テレビ ボランティア活動に参加して

短大家政科福祉専攻1年

宮地 涼香

8月31日、ビッグパレットで開催された24時間テレビのボランティアに参加しました。

会場では募金活動を担当し、多くのお客様に募金のご協力をいただきました。これまではテレビの中のある助け合いの心に驚き、とても感動しました。1つのテレビ番組が、多くの人々の心を動かせる素晴らしいことを実感でき、このボランティアに参加して本当に良かったです。長時間のボランティアでも疲れませんが、



今年もショッキングピンクのTシャツで。附属高校



ボランティア頑張りました

募金などを通じて助け合う気持ちを、普段の生活でも心がけようと思っています。また来年も参加したいです。

父子で料理に挑戦

食べ物、栄養、健康に関する知識や技術を体験的に学ぶ食育の場としての夏休み親子クッキング教室「パズ・イン・ザ・キッチン」が8月23日に行われた。

短大・食物栄養専攻と公益財団法人フードスペシャリスト協会との共催で44人が参加。小林澄枝講師のデモンストレーションを見学した後、10班に分かれて調理した。親子で協力しながら、「茄子とミートソースリガトニー」「コーンスープ」「帆立のカルパッチョ」「すいかのフルーツポンチ」を親子が力を合わせ完成させた。参加者は「夏休みのいい思い出ができました」と喜んでいました。



父子で思い出づくり

家庭寮で七夕会開催

家庭寮年中行事のひとつである七夕会が今年も行われた。寮生二人ひとりが願いを込めて色とりどりの短冊に願いをつづり、その短冊は寮友会役員が中心となり若竹に飾られた。短冊へは、卒業後の進路のこと、成績のこと、遠く離れた家族のこと等が記されていた。

日々寮友との交流を深め、自己をみつめながら成長をしていく寮生。寮舎はいつも元気な声、輝く瞳に満ちているが、この日は今まで以上に親睦を深めあっていた。



短冊に願いを込めて

大塚さんが表彰される 日本家政学研究会 東北・北海道支部会

大学院

第59回一般社団法人日本家政学会東北・北海道研究発表会が9月6日、東北女子大で行われた。

本大学院生の大塚久美子さんが「福島県産山菜放射性セシウム濃度」について発表し、表彰された。

広井 勝教授 厚生労働大臣表彰

大学・食物栄養学科の広井勝教授は8月23日、神奈川県横須賀市で開催された平成26年度全国栄養改善大会の席上、栄養士の養成に功労あつたとして表彰された。広井教授

は昭和41年から本学に勤務して以来、一貫して栄養士、管理栄養士の育成に努めている。

よくみる よくきく よくかんがえて

10月1日から願書受付開始 附属幼稚園

本園は「よくみる よくきく よくかんがえて」をモットーにして健やかで明るく、素直な、賢い子どもに育てるため、体を鍛え、基本的な生活態度を身につけさせるなど、正しい生活態度を養っている。遠足、お誕生会、お泊り保育などでの友だち関係も大切にしている。

送迎用のスクールバスも運行、早朝保育、延長保育もある本園の27年度願書受付は10月1日から。

紙上美術展 74

「小杉小二郎さんの絵」



「海に見える丘」



「春の花」

小杉小二郎氏は1944年（昭和19年）東京生まれ。パリ市内にアトリエを持ちフランスと日本を往来し、その静謐で落ち着いた作風は多くの人々に親しまれている。

第162回芸術鑑賞講座として油彩画、ガラス絵、コラージュなど47点が展示された。

木もれ陽

いつの間にか空は青く高く、季節は稔りの秋を迎えようとしている。時の流れの速さを感じる。春に、それぞれの夢を抱いて入学してきた新入生はそれぞれの場所でそれぞれの立ち位置を定め、充実した時間を送っている。また、夢を実現させるために、今まさに進路を決定しようとしている人々もいる。

人生において、夢の実現のために、幾度か重要な選択を迫られる時がある。中でも18歳の岐路はその後の長い人生を決定づけることになるだろう。

夢が実現できると実感できた時、その瞳は希望に満ちあふれ輝く。そ

の瞳の輝きは「自信」という自分の能力を發揮させるパワーがもたらすものだ。そこには無限の可能性がある。

しかし、夢の実現が遠のき、離れていく場合もある。その理由は一つではない。様々な要因が交錯し、18歳の心を悩ませる。瞳は闇に閉ざされ、夢みる心は深く絶望する。

忘れてはならない。2年前の春に夢を一杯詰め込んで入学したあの日のことを。家族に祝福され、開成の杜の緑豊かな自然と共に学び成長しようとしたことを。降り注ぐ陽光のざんざんと、一人ひとりの夢を全力で見守る人たちがいる。18歳で絶望するのは早すぎる。顔を上げて周りを見回して欲しい。あなたをそばによりそい、勇気づけてくれる人が必ずいるから。

(河村)